西大和つうしん

2013年 7月号

No. 373



琵琶ノ瀧 6月16日例会山行:大峰・百今ヶ岳

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

西大和つうしん

第373号(2013年7月号)

【目次】

7月度山行計画1						
2013 年度夏山山行計画2						
7月度・8月度カレンダー3						
山行・行事等参加メモ						
山行報告						
クリーソハイク	《5月26日》	葛城•金剛	金剛山(林)	5		
自主山行	《6月2~8日》	九州の山	由布岳(島崎)	6		
			平治岳~大船山(藤井)	6		
			中岳~久住山(阪口)	7		
			祖母山(阪口)	8		
			阿蘇山(島崎)	9		
例会山行1	《6月9日》	丹波の山	白髮岳(田中初)	10		
例会山行2	《6月16日》	大峰の山	百合ヶ岳(亀高)	11		
例会山行1	《6月23日》	大峰の山	釈迦ヶ岳(高田)	12		
室内例会だより(5/29)						

7 月度山行計画

- ~夏山訓練山行の第2弾! 8時間のハードな行程ですが、 夏のアルプス縦走を目指して挑戦してください。~
- ◆7月7日(日):夏山訓練山行◆大峰の山《大普賢岳》

[L: 辻 / 緊連:都築]

【集 合】6:00 上牧町役場前駐車場

【コース】和佐又ヒュッテ(8:30)〜笙ノ窟(9:30)〜大普賢岳(11:00/30)〜 国見岳(12:40)〜七曜岳(13:10)〜無双洞(14:30)〜 底無井戸(15:30)〜和佐又山分岐(16:10)〜和佐又ヒュッテ(16:30)

~ブナ林の美しい江若国境の山~

◆7月14日(日):例会山行1◆近江・若狭国境の山《百里ヶ岳》

[L: 勝尾 / 緊連: 計]

【集 合】6:00 上牧町役場前駐車場

【コース】小入谷駐車場~(0:20)~小入谷越~(1:50)~シチクレ峠~(0:30)~県境尾根分岐~(0:40)~百里ヶ岳~(0:30)~ 県境尾根分岐~(0:40)~根来坂峠~(1:20)~大倉谷出合~(0:20)~小入谷駐車場

2013 年 度 夏 山 山 行 計 画

- ∼お花畑をめぐる荒川三山∼
- ◆7月19日(金)~23日(火):例会山行1
- ◆南アルプス**《荒川三山~赤石岳》** 〔L:島崎/ 緊連:田中悦〕

【日程とコース概要】

7月19日(金): 佐味田川駅(10:00 発)=畑薙ダムP場(21:00 頃着)(テント泊)

7月20日(土): 畑薙ダム(8:00発)=椹島(9:00着)//

椹島~千枚小屋(泊)【歩程:7時間00分】7月21日(日):千枚小屋~荒川小屋(泊)【歩程:5時間30分】

7月22日(日): 荒川小屋~椹島ロッジ(泊)【歩程:9時間30分】

7月23日(火): 椹島(6:30発)=畑薙ダムP場(8:00発)=(帰宅時間:22:00頃)

- ~槍ヶ岳を目指す、北アルプスを代表するダイナミックな縦走コース~
- ◆7月28日(日)夜発~31日(水):例会山行1
- ◆北アルプス・表銀座縦走《燕岳~槍ヶ岳》〔L:辻/緊連:田中悦〕

【集 合】7月28日22:30 大阪梅田 阪急三番街バスターミナル 【コース】

7月28日(日):《往路》大阪(22:40発)⇒(夜行バス)⇒穂高駅(翌5:00着)

7月29日(月): 穂高駅(5:05 発)⇒(バス)⇒中房温泉(6:00 着)//

中房温泉(6:30)~合戦小屋(10:00)~燕山荘(11:00)~燕岳往復

~燕山荘(12:30)~大天井ヒュッテ(15:00)(泊) 【歩行時間:7時間40分】

7月30日(火): 大天井ヒュッテ(6:00)~ヒュッテ西岳(9:00)~水俣乗越(10:00)

~<昼食>~槍ヶ岳山荘(13:30)~槍ヶ岳往復~槍ヶ岳山荘(15:00)(泊)

【歩行時間:7時間50分】

7月31日(水):槍ヶ岳山荘(6:00)~水俣乗越分岐(8:00)~槍沢ロッジ(9:00)~横尾(10:45)~上高地(14:00)// 【歩行時間:6 時間 50 分】

《復路》上高地(14:15 発)⇒(バス)⇒大阪(20:41 着)

- ~信仰登山の立山三山から剣岳の展望台大日岳へ~
- ◆8月9日(金)夜発~12日(月):例会山行1
- ◆北アルプス《立山三山~大日岳》 〔L:藤井/ 緊連:辻〕

【日程と歩行コース概要】

8月9日(金): 大阪22:00=<高速バス>=

8月10日(土):=富山=<バス>=室堂//室堂~室堂山~浄土山~一の越~雄山 ~真砂岳~別山~剣御前小屋(泊) 【歩程:4時間50分】

8月11日(日): 剣御前小屋~奥大日岳~大日岳~大日平山荘(泊)

【歩程:7時間10分】

8月12日(月): 大日平山荘〜称名の滝展望台〜称名平【歩程:2時間25分】

//称名平=<バス>=立山駅=<富山地鉄>=富山=<高速バス>=大阪

西大和山の会 カレンダー

		フ 月			8 月
1	月		1	木	県連ハイキングリーダー学校•座学第4回
2	火	県連理事会	2	金	
3	水		3	±	
4	木	県連ハイキングリーダー学校•座学第3回	4	B	県連ハイキングリーダー学校•実山行(前夜発)
5	金		5	月	
6	±	県連女性部主催テーピング講座(15:30~)	6	火	県連理事会
7	B	夏山訓練山行 🌿 大普賢岳(辻)	7	水	
8	月	L 7(日) 県連ハイキングリーダー学校・実山行	8	木	
9	火		9	金	9(金)~12(月)
10	水		10	土	9(金)~12(月) 例会山行 北アルブス 立山三山~大日岳
11	木		11	B	(藤井)
12	金		12	月	(旅行)
13	±		13	火	
14	Ħ	例会山行 城・森 百里ヶ岳(勝尾)	14	水	
15	月		15	木	
16	火		16	金	
17	水		17	土	
18	木	『西大和つうしん』原稿締切	18	B	
19	金		19	月	
20	±	19(金)~23(火)	20	火	
21	Ħ	例会山行 南アルナス 荒川三山〜赤石岳	21	水	
22	月	(島崎)	22	木	
23	火		23	金	
24	水		24	土	
25	木	※室内例会	25	B	例会山行 舟波 筱見四十八滝 (田中初)
26	金		26	月	
27	土		27	火	
28	Ħ	28(日)~31(水)	28	水	
29	月	例会山行 北アルブス・表鍵座縦走 燕岳〜槍ヶ岳	29	木	県連ハイキングリーダー学校•座学第5回
30	火		30	金	
31	水		31	土	百山后少今,复生北)

※9/1(日)会報原稿締切 ※9/8(日)室内例会・夏山反省会・暑気払い

山行・行事等参加メモ

		例会	例会	例会	例会	例会	例会	自主		
50		6/26	7/7	7/14	7/19	7/28	8/9	8/16		
音順		室内 例会	大普 賢岳	百里ヶ岳	荒川 三山	表銀 座	立山 三山	鹿島槍		
1	(石田)			, _						
2	今井	\bigcirc	×	\bigcirc	\bigcirc			\bigcirc		
3	内田	X					\bigcirc			
4	勝尾			L		\bigcirc	\bigcirc			
5	亀高	\bigcirc	車	\triangle			\bigcirc			
6	(窪田)									
7	阪口	\bigcirc	\bigcirc		\bigcirc	\bigcirc		\bigcirc		
8	島崎	\bigcirc	\bigcirc	●車	L	SL	\bigcirc			
9	杉川		×	○車						
10	杉村			\bigcirc		\bigcirc				
11	多賀		X	\bigcirc	SL					
12	高田				\bigcirc					
13	高橋		X	X			\bigcirc			
14	田中悦		○車	○車	緊	緊				
15	田中初	\bigcirc	X	\bigcirc						
16	玉越	\bigcirc	X	X	\bigcirc					
17	辻	\bigcirc	L≢	緊		L	緊			
18	都築		緊	\triangle						
19	橋本			X						
20	林	X					\bigcirc			
21	藤井	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\circ		L			
22	藤本		\bigcirc							
23	松浪	×								
24	的場	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc			L		
25	三島	X								
26	村田	X					\bigcirc			
	合計	19	13+	15+	8	5	9	3+		

クリーン・ハイキング

《金剛山(久留野道)》

【日 程】5月26日(日) 天候 曇り

【参加者】L 林・SL 藤井・島崎・田中(悦)・田中(初)・村田・勝尾・藤本・高橋・ 多賀・的場・亀高・今井・窪田(会員 14 名・一般 6 名:合計 20 名)

【コースタイム】JR 北宇智駅(9:00 集合)~久留野林道入口(9:40)~久留野峠(11:20) ~伏見峠キャンプ場(昼食 12:10/13:00)~天ヶ滝(13:50)~小和町登山口 (14:15)~ゴミ集計・解散(14:50)

労山主催第 45 回目クリーンハイク活動として、梅雨のこの時期昨年と同じルートを選びました。

久留野林道入り口で、一般参加者にも清掃用具を持ってもらい、ルートの確認を行い出発しました。普段の登山と違い、足元周辺を見回しながらの登山と成ります。 昨年迄だと登山口辺り大ゴミや産廃ゴミが多く見られましたが、ほとんど見付けられません。峠までの登山道でも、斜面の中腹まで降りて、古いカン・ペットボトル他を回収する程度で、参加者から、もこれで良いのだが思いの他少なく期待外れの声が出ました。峠キャンプ場でやっと、ピンクと紫色のクリン草を見ながら、少



し遅い昼食タイムで一休みを取りました。 昼からの下山道も同じ様子で、登山道 にはハイカーによるポイ捨てゴミや、不 法投棄による、大型のゴミもほとんど見 当たりませんでした。

大和町登山口まで降り、ゴミ分別集計の結果は、昨年の 1/3 まで減っていました。私たち登山者の自然環境を保護し、身近な自然を守る心構えの現われだと思います。来年は場所を替えるか、ルート

を替えるか検討して再挑戦したいと思います。

毎年地元から参加して頂きます A さん夫妻から、早朝から作っていただいた差し入れ、大変おいしく戴き、感謝します。

ゴミの量:

缶類 0.8kg / ビン類 1.0kg / 燃えるゴミ 3.2kg / ペットボトル 0.8kg / その他 2.6kg 合 計 8.4kg

(林 弘文)

自主山行

九州の山 <u>《由布岳・平治岳~大船山・中岳~</u> 久住山・祖母山・阿蘇山》

【日 程】6月2日(日)~8日(土) 【参加者】L島崎・藤井・阪口・今井(4名)

6月3日(月) 天気 小雨後晴れ

◆由布岳西峰 1,583.5m・東峰 1,580m

【コースタイム】由布岳登山口(8:10)~西峰・東峰分岐(10:10)~西峰(10:40)~お鉢 巡り~東峰(11:45/12:20)~日向岳(13:40)~由布岳登山口(14:55)

概略

フエリーにて大分到着後、やまなみハイウエーの由布岳登山口に到着、いよいよ 九州の山を登る、天気予報は晴れであったが、小雨状態で展望無、なだらかな丘を 登って、自然林の中を通る、秋の紅葉時分も良いだろうなと思いつつ登って行く、 只、残念ながら展望は効かない、登るにつれてミヤマキリシマが咲いている、斜面 に群生しており、思ってもみなかったので、感激!!

東峰・西峰の分岐から岩場を登って行く、急に山容が変化する、西峰でも展望無、 東峰までお鉢巡りもする、すぐ近くにミヤマキリシマの群生である、少し晴れてき だした、岩稜の登り降りと兎に角変化にとんでいて面白い。

東峰到着、ぞくぞくと人がやってきた、晴れてはいるが、視界は良くない、食事を済ませて、日向岳へ下って行く、分岐から日向岳へは自然林の中を歩き、気分が良い、ここまでは誰もやって来ない、下りは苔むした処を下って行く、まるで大峰山系を行ってる感じである。アップダウンを繰り返して、最初の分岐点に着く、晴れて視界が広がり、なだらかな山容と由布岳を見て登山口に到着、自然林・岩稜線・ミヤマキリシマの群生等誠に変化に富んだ由布岳でした、お勧めの山ですよ!!

(島崎 隆)

6月4日(火) 天気 晴れ

◆平治岳 1,642m~大船山 1,786m

【コースタイム】長者原(7:55)~雨ヶ池(9:15)~坊ガツル(10:13/27)~大戸越

(11:22/27)~平治岳(12:05/12)~大戸越(12:45/13:15)~北大船山(14:12)~大船山(14:42/55)~段原(15:10/15)~坊ガツル(16:15/25)~法華院温泉(16:35)

今日は朝からすばらしい青空が広がっている。長者原ビジターセンターから広々とした湿原の木道を少し歩き山道に入る。樹林帯を緩やかに登っていくとやがて展望が開け、ここも湿地帯になっていて小さな雨ヶ池があった。山肌がピンクに覆われた山がいくつも見えてきて登行意欲が増してくる。坊ガツルまでいったん下ると平日だというのに別の登山口からの登山者が続々と集まってくる。昨週はずっと天気がよくなかったらしい。

坊ガツルからの急登は昨日聞いていたがどろんこのぬかるみ状態!いくつも迂回路ができていたが、この人の多さでは役にたたない。やっとどろんこ道を抜けた大戸越は目の前に見事にピンクに染まった平治岳がどーんとそびえていた。山頂まではまさにミヤマキリシマの間を縫って登っていく。九重連山の眺めもすばらしい。山頂は花花花、人人人、でも見渡す限りのキリシマに会えた!!花もちょうど見ごろ、天気も最高、感動と感謝です。

大戸越まで下り反対側の大船の登りにとりかかる。こちらはひっそりしていて殆ど登山者に会わなかったが午後の強い日差しを受けながらの登りはきつかった。振り返ると今登ってきた平治岳のピンクの斜面が美しい。

大船山は岩に覆われた鋭鋒で人はあまりいなく静かな雰囲気と展望を楽しめた。 ここもミヤマキリシマの山だが段原あたりに群落はあるが花の数では平治岳の比 ではなかった。

段原から今日の宿法華院温泉までひたすら下る。こちらも多少ぬかるんでいたが 登りの道ほどではなかった。

法華院温泉は久住山の山腹 1,300m の高所に湧く一軒宿の温泉。リーダーが苦労して予約を取ってくださって個室に泊まれたが、ハイシーズンとあって団体さんでごった返していて静かな山の宿というわけにはいかなかった。

でも花を満喫した後の山の温泉、これ以上の極楽はない!!

(藤井 益子)

6月5日(水) 天気 晴れ ◆中岳 1,791m~久住山 1,786m

【コースタイム】法華院温泉(7:05)〜鉾立峠(7:35)〜白口岳(8:40)〜中岳(9:40)〜天 物ケ城(10:05)〜久住山(10:40)〜久住分かれ(11:15/12:00)〔昼食〕〜諏蛾 守越(12:45)〜長者原(14:05)

法華院温泉を出発して鉾立峠へ、そこから白口岳へは、ガレ場の急登で途中後ろを振り返り、昨日昇った平治岳のツツジでピンク色に染まった山容に癒されながら 頂上に着きました。 この辺りから、私達と逆コースの人とすれ違うようになり、こんにちわコールも忙しくなってきました。稲星山のドウダンツツジやアセビに囲まれたなだらかな道を歩き、中岳に向かうと、又岩の多い急登。

九州本土最高峰の中岳頂上へ。でもツツジの木は沢山あるのですが、蛾の幼虫がいっぱいで葉も花も無く無残な姿でした。山一つ違うだけでこんなにも変わるものかと驚きです。

幼虫の多さにも驚きですが、そこから久住山への稜線上は、平日にも関わらず人の多さにチョットびっくりです。ツアー客が列をなし何かアリの行列を見る思い。久住分かれで昼食を食べ北千里浜へ下りました。今までとは別世界の荒涼とした山肌で、硫黄山の噴煙から硫黄臭が漂い岩に付いた黄色いペンキに導かれ、気持ち良く歩いていると、ペンキは諏蛾守越から又登っていてエーて気持ち。登っていくと左の山は溶岩だらけ、右の山は笹原に覆われた三俣山、道を挟んで左と右の景色の違いに戸惑いながら長者原までぬかるんだ道や長い林道を歩き下山した時のお決まりのソフトクリームがおいしかった事。山頂からは阿蘇山、由布岳も見え、知名度、山容、眺望と九州を代表する山並みだなと思いました。

(阪口 百合子)

6月6日(木) 天気 曇り後晴れ ◆祖母山 1.756m

【コースタイム】北谷登山口(9:20)~風穴(10:15)~頂上(11:35/12:05)〔昼食〕~国 見峠(12:40)~三県境(13:08)~千間平(13:28)~北谷登山口(14:15)

登山口は、久住山とは対照的で、数台の他府県ナンバーの車が駐車してあり、静かな登山となりました。川を数回渡渉すると数日前の雨でぬかるんだ登山道に出て疲れるなと少し嫌な気分。

風の無い登りは蒸し暑く風穴に着いた時は、岩の中から出てくる冷気にホッとー息。そこからハシゴやロープが多くなり、このコースやはり登りに使う方が良い事を実感しながら頂上に着きました。

頂上はガスがかかっていて、眺望は悪く昼食を済ませ下山しました。下山道は楽と思っていたのですが、これが又ぬかるんだ坂道ですべりやすく、笹を持ちながらの長い下山道。登りが急なら、同じだけ下ることを忘れていました。下山してやっと木の間から祖母山の頂上が見え、山深い所にあることを思い知りました。でもみんなの口から出たのは、何でこの山が百名山。これなら由布岳のほうが山容も良いし、登山道も変化があり結構刺激のある山でこちらを、百名山にするべき。まことにその意見には私もグーのねも出ない。深田久弥に聞きたい気持ちです。頂上には神武天皇の祖母:とよたまひめを祭っていて、それで祖母山だそうですが、深田久弥がそんな事にこだわったとは思えないのですが、前日の九重連山の華やかさの後なので見劣りしたかも。

(阪口 百合子)

6月7日(金) 天気 晴れ

◆阿蘇 高岳 1,592m • 中岳 1,506m

【コースタイム】仙酔峡 P 場(8:30)~馬鹿尾根コース分岐(10:20)~高岳(10:45)~中岳(11:05/40)~東口観測所(12:10)~仙酔峡 P 場(13:00)

概略

いよいよ九州の山旅も最後となり、阿蘇山の周遊コースの登る、仙酔峡登山口より通称、馬鹿尾根コースの稜線上をひたすら登って行く、岩場の連続であるが、小岩がまるで、溶接されている様に大きな岩にしっかりとくっついている。

やっと高岳分岐へ到着、すると高岳東峰の方にキリシマツツジの群生が見える、 吸い寄せられるように近寄って行くと、見事な桃源郷の世界である。

時間があれば、周遊したい処であるが、本来の目的は高岳〜中岳のコースであるので、思いを断ち切り、高岳へ、高岳からは中岳への稜線及び阿蘇の噴煙が見え、今までにない雄大な山容展望できる。

中岳からはさらに噴火後の山肌と噴煙を見ながら、昼食タイム、贅沢な時間を過ごす事ができた。

周遊しながら、だんだん噴煙まじかまで、近づいて行く、対岸は昨日寄った、阿蘇ロープウエイの建物が見える、下りは舗装された登山道を下って行く、途中、廃墟になった、仙酔峡ロープウエイ駅を横目に下り、無事仙酔峡登山口へ到着、今回は梅雨の晴れ間で天気にも恵まれ、毎日、変化に富んだ山容を楽しみ、ホテル泊で毎日温泉入り、ビールとおいしい食事ができて、最高の山旅でした。

(島崎 隆)



阿蘇、高岳東峰ミヤマキリシマ群生

例会山行1

丹波の山 《白髪岳》

【日 程】6月9日(日)

【参加者】L 田中(初)・SL 田中(悦)・林・辻・杉村・内田・高橋・玉越・杉川・橋本・亀高(11名)

【コースタイム】住山 P(8:50)〜白髪岳登山口(9:22/30)〜ベンチ(10:05/10)〜白髪岳 (10:45/11:30)〜文保寺分岐手前(12:07/12)〜松尾山(12:23/40)〜住山 P(13:47)

昨年雨で中止なって以来、やっと願いが叶った白髪岳です。住山集落の道路脇に車を駐車して30分程林道を行く。登山口を過ぎた所から厳しい急登が続き、足が



重く進めない。T さん「鉄山の方が急登ですよ」と。尾根まで登ると傾斜が緩くなりほっとする岩場にはロープが取付けてあったが、三点確保で登るが横を見てしまい恐怖感が増し、後は下を見ないようにして岩場を越えた。白髪岳山頂は、360 度の大展望で丹波の山々が一望できた。少しはやいが「眺望が良い所がいい」と言う事で昼食とする。

山頂から、急勾配の下りを何本も束ねたロープを頼りに下る。道が緩やかになり、こ

のまま下山するのではと思うほど下って行くので、地図で確認すると P689 の巻道だった。その前に S さんが、念のため戻って下さり、踏み跡らしき道はあるがこち

らの道で OK とのことで、ひと安心。S さんお世話かけました。雰囲気の良い鐘掛の辻から、急坂を登ると広々とした城跡の松尾山に到着。木々に囲まれて眺望はないが、ゆっくりと休憩した後、落葉で滑りやすい急坂を、高仙寺跡を経て無事下山しました。

梅雨のこの時期、お天気にも恵まれ、 頂上からの大展望そして岩場の登りと、 充実した山行ができました。

(田中 初子)

例会山行2

大峰の山 《百合ヶ岳 (大所山)》

【日 程】6月16日(日)

【参加者】L 藤井・SL 的場・島崎・都築・田中(悦)・田中(初)・辻・内田・多賀・ 杉村・玉越・杉川・橋本・松浪・高田・亀高(16 名)

【コースタイム】物置小屋登山口 P(8:47)~琵琶の滝(9:15/23)~登山道分岐(9:40) ~女郎岩(11:00/10)~百合ヶ岳 1,346m(11:35/12:12)(昼食)~展望岩 (12:22)~下山道分岐(12:40)~石清水(13:02)~登山口 P(13:50)

国道 169 号を南下し、空梅雨で水量の減った大滝ダム湖を過ぎたところで下多古集落方面へ右折。集落を過ぎ、林道を進むと物置小屋登山口の結構広い駐車場に到着した。準備運動の後、A/B 班 8 名ずつに分かれ、先ずは琵琶の滝を目指す。前日に久々に降った雨のため、登山道は濡れて滑りやすい。雨上がりの新緑とコアジサイやガクウツギの可憐な花を眺めながら歩を進める。この道のりは、風もなく蒸し暑い。登り始めて 30 分ほどで琵琶の滝に到着。前日の雨で水量を増した涼しげな滝が姿を見せ、滝見小屋で T さんからのカットした冷えたパイナップルの配給で生き返る。

滝を出発後、しばらくして谷川を渡す吊橋を渡った谷筋で、アカハライモリを発見。さらに久々にアサギマダラの優雅な飛翔を目撃。本州の高原で繁殖し、秋から冬に適温を求め、九州、南西諸島から時には台湾にまで遠距離を旅する蝶だ。

谷筋を離れ、しばらくは急登が続く。ロープが張られた急峻な岩場も多く、予想していた以上の急登で夏山訓練に持って来い。11 時、ようやく女郎岩に到着。女郎岩は、ほぼ垂直にそそり立っており、左右の足を置く足場を確保しながら、ひとりずつ慎重によじ登る。女郎岩を越えた先の尾根筋は一転してなだらかで、美しいブナ林が姿を見せる。やはり自然林は気持ちがいい。ブナ林の足元の登山道は長年の落葉がふんわりと積み重なり、まるでフカフカの絨緞のよう。時折、林の切れ目から大峰・台高の山々を望むことができる。女郎岩を越えて歩くこと 30 分、百合ヶ岳山頂に到着。集合写真と昼食を済ませた後、下山開始。

復路は展望岩と石清水を通るルート。展望岩からは、その名の通り大峰・台高の 山々の展望が素晴らしい。なかでも白鬚岳の尖峰が特徴的。白鬚岳は面白そう、登ってみたい気持ちにさせる眺めだ。下山道はつづら折りの人工林で、単調ながら石清水では渓流に棲息するナガレタゴガエルの大量の卵塊に出会った。今回の山行では、久々にアサギマダラの飛翔や他にもアカタテハの吸水も見ることができ、大満足の一日でした。

(亀高 茂)

夏山訓練山行

大峰の山 《釈迦ヶ岳》

【日 程】6月23日(日)

【参加者】 L 島崎・SL 多賀・田中(悦)・藤井・勝尾・林・阪口・橋本・亀高・高田(10 名)

【コースタイム】上牧 P 場(6:00)=登山口(8:30)〜古田の森(9:35)〜千丈平(10:10)〜水場〜頂上(10:30)〜避難小屋(11:15/12:00)〜古田の森(13:30)〜登山口(14:40)

集合時間を 30 分早めての出発、天気予報では崩れそうだが何とかもってくれることを願って走行する。駐車場に着いた頃には数台の先着あり。近くに清潔なお手洗いがあった。登山口で、すでに標高 1,300m、ゆるい樹林を抜けると景色が広がり、立ち枯れや苔むした倒木など大峰らしい風景が味わえる。気温も低く気持ちいいな、と思っていた矢先、雨がポツリと降りだし雨具を着ける。梅雨の時期なので仕方ないのかな、と思うが雨具が暑い。クマ笹の道を進むと、まだ蕾が固そうなバ

イケイソウが一帯に広がり、群落になっている。

干丈平から水場を過ぎた辺りにはシロヤシオの白い花びらが足元に落ちている、もう少し早くければ咲いている花が見られたのだろう。

頂上まではもう一息、私は足が重く結構きついと感じた。やがて正面に観音様がみえ釈迦が岳に到着、ホッとした。頂上はまるでパワースポットのように思えた。天候がよければきっと素晴らしい眺望があったの

でしょう、今回は残念ながら見ることはできなかった。

ここから孔雀岳へ登る予定だったがキレットや険しい道が続くため折り返すことになり、深仙ノ宿へと下る。クマ 笹で足元が見えにくく、滑りやすい石もあり何度もヒヤッとしながら歩く。避難小屋で昼食をとる。

下山途中、けもの道に迷いこんだ。お陰で鹿の角を二本も見つけ、T さん達がそれぞれお土産に持ち帰る。ご家族は喜ばれたのでしょうか。



干丈平あたりで数頭の鹿がお出迎えしてくれる、私は野生の鹿をみたのは初めてだったので人慣れしていることに驚いた。孔雀岳も登ってみたかったが、足の調子もよくなかったので丁度よかったのかも、と思う。

(高田 純子)

室内例会だより

【日 時】2013年5月29日(水)19:30~21:00 事務所 【出席者】島崎、林、杉村、内田、三島、村田、藤本、田中(悦)、田中(初)、多賀、藤井、勝尾、辻、高橋、玉越、的場、杉川、阪口、橋本、高田、松浪、都築

1. 山行案内

7月19日(金)~23日(火) 例会山行1 南アルプス(荒川三山~赤石岳) L島崎7月28日(日)~31日(水) 例会山行1 北アルプス・表銀座縦走(燕岳~槍ヶ岳)

8月 9日(金)~12日(月) 例会山行1 北アルプス(立山三山~大日岳) L藤井 8月16日(金)~19日(月) 自主山行 北アルプス(鹿島槍) L的場

2. 山行報告

4月21日(日)	例会山行1	丹波の山(向山) L内田 14名
4月28日(日)	例会山行1	鈴鹿の山(岩ヶ峰〜釈迦ヶ岳〜三池岳)
		L藤本 15名
5月 3日(金・祝)	自主山行	台高の山(三峰山)L島崎 8名
5月 6日(月·振替休日)	自主山行	大峰の山(鉄山) L多賀 12名
5月12日(日)	例会山行1	県連主催ハイカーのための搬出講習会
	(王寺町)	地域交流センター) L杉川 16名
5月19日(日)	例会山行1	京都の山(愛宕山)L都築 17名

3. 連絡その他

・ 県連より報告

5月12日ハイカーのための搬出講習会(王寺町地域交流センター) 6月22日(土) 第23回自然保護セミナー 奈良県橿原文化会館13:00~16:00 6月26日~30日 平和行進(2013年原水爆禁止国民大行進)

7月6日(土) 15:30~ 女性委員会 テーピング講習会 陽養鍼灸整骨院

- テントの購入 4人用ダンロップ2.05kg
- 9月15日の女性部山行は、事情によりリーダーを村田さんから藤本さんに変更。
- ・6月16日例会山行1(百里ヶ岳・リーダー勝尾さん)と7月14日例会山行2(大峰百合ヶ岳・リーダー藤井さん)の山行日を交代。

(都築 周作)

第373号(2013年7月号)

西大和つうしん

2013年6月26日発行

発行責任者 島崎 隆 編集責任者 藤本武司

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会 http://www.nishiyamatoyama.org/